

# 山口大生ら 集落調査

錦 健康づくりや生活課題



聞き取り調査をする長谷助教  
(左端)と井上さん(右端)

医学部の長谷亮助教(37)たちのグループが11日、同町北部の大原、宇佐郷の両地区で集落調査を始めた。

長谷助教と医学部生、広島大学院生、市社会福祉協議会錦支部メンバーら8人。両地区の計46世帯を対象に戸別訪問し、生活状況や困り事など46項目を聞き取った。

夫婦2人の高齢者世帯を訪れた山口大医学部3年井上雅崇さん(21)は「人口減など地域全体の行く末を心配する声が目立った。これから自分たちでできることを考えたい」と話した。

グループは16、18日にも調査。来月ごろ、大原地区で調査結果の報告会を開く予定にしている。長谷助教は「現状をしっかりと把握したうえで、地域の方々と一緒に課題を話し合いたい」と期待している。

(上杉智己)